

病院変革人材育成
「YCU病院経営プログラム」
令和2年度 事業報告書

文部科学省選定
「課題解決型
高度医療人材養成
プログラム」
採択事業



横浜市立大学

横浜市立大学医学研究科・国際マネジメント研究科
附属病院・附属市民総合医療センター

横浜市立大学「YCU病院経営プログラム」事業概要

学長ごあいさつ



横浜市立大学学長
相原 道子

横浜市立大学は、附属病院、附属市民総合医療センターという2つの大規模病院を有し、これまで高度な先進的医療のみならず、政策的医療提供など地域の安定的な医療に寄与してきました。一方、日本の社会は待った無しの少子高齢化社会に加え、令和2年は新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われ、地域から求められる医療はさまざまな課題を抱えつつ、急速に変化しています。大学病院においても例外ではなく、あらゆる変革が求められています。

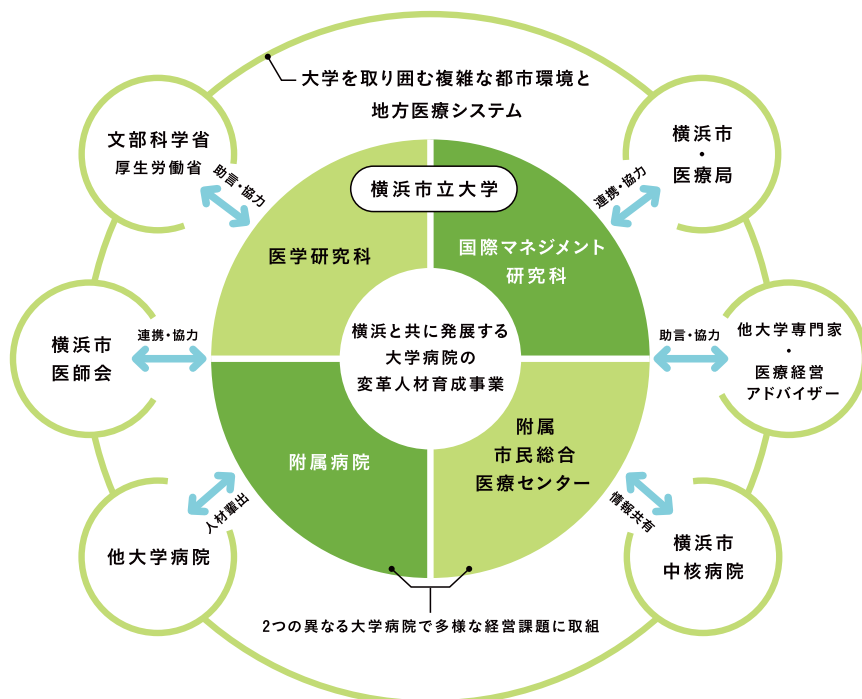
そのような中、横浜市立大学は、平成29年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択され、平成30年度から社会人大学院履修証明コースである、「YCU病院経営プログラム」をスタートいたしました。医師、看護師、その他コメディカル、事務管理職、医療行政職という幅広い方々を対象に年々履修生を増やし、令和2（2020）年度は18名の履修生をお迎えしています。実践的なケーススタディや各自の課題に取り組む特別研究を中心とし、医学研究科、国際マネジメント研究科、データサイエンス研究科、附属病院、附属市民総合医療センターの5拠点で展開しています。修了生はそれぞれの部署において、研究や学習の成果を病院経営に活かすとともに、このプログラムが毎年公開しているシンポジウムや公開授業等も利用して、ネットワークを広げています。

次世代を担う新たな病院経営人材が育っていくよう、横浜市医療局や横浜市医師会、病院協会等とも連携しながら、大学として強力にプログラムを推進していきます。

事業概要

都市型地域医療を先導する、病院変革人材を育成するために

横浜市立大学内体制図



事業の実施体制図 推進体制



事業責任者ごあいさつ



横浜市立大学附属病院
病院長 本事業責任者

後藤 隆久

急激な高齢化に加え、2020年度は新型コロナウイルスのパンデミックにより、大学病院は様々な新たな課題に向き合っています。一方、医療・介護財源である社会保障費や税金の担い手は減少の一途をたどり、医療提供や人材育成にも、新たな発想が求められます。

本プログラムは、e-learningや研究会、またシンポジウム、ケースディスカッション、特別研究など多彩な教育機会を用いて、大学病院のみならず、医療機関の健全経営を担保し、あるいは政策立案に資するために、下記の資質を備えた人材の育成を行います。

- 1 医療安全や病院管理等の基本的資質に加え、地域毎の医療環境の中での自院の戦略的ポジショニングを考え、大学病院を変革する力
- 2 地域の医療・介護システムを構築していく中で大学ならではのリーダーシップを発揮し、病院単独では解決できない経営問題をその地域の行政・医療・介護の担い手、住民等と協働しながら解決する力

プログラム実績

履修生受入実績

年 度	募集数	履修生数
平成30年度	10名	15名
平成31(令和1)年度	10名	15名
令和2年度	12名	18名
令和3年度	13名	25名

開催シンポジウム、セミナー

年 度	内 容	参加者数
平成29年度	キックオフシンポジウム 「大学病院と地域の病院・診療所との連携と機能分担都市における医療の課題と将来の方向」	109名
平成30年度	公開シンポジウム 「更なる効率化と質保証に対処していくために！ －医療ICTの機能拡充と活用－」	115名
平成31(令和1)年度	公開シンポジウム 「修了生による地域医療・病院経営改善に向けた提言」	50名
令和2年度	①公開授業 「横浜市大附属市民総合医療センターの経営改革」 ②公開シンポジウム (1)「働き方改革と医療政策」 (2)「COVID-19パンデミックの中で病院と地域医療をどう経営するか？」	①44名 ②(1)91名 (2)220名

大学病院長・幹部候補のライセンスとしての履修証明プログラム

「YCU病院経営プログラム」内容※

大学病院長候補者、病院長を補佐する医師・医療従事者、看護管理職候補者、事務管理職候補者、自治体関係者などを対象にした1年間（最大2年間）のコースです。

※「履修証明プログラム」は、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学が主として社会人向けに体系的な教育プログラムを開設し、その修了者（120時間以上の履修を完了する者）に対し、学長名の履修証明書を交付するものです。

教育プログラムの育成人物像

- 1 超高齢社会に対応する日本の医療政策、および各自治体の実態を理解している。
- 2 高度急性期医療を使命とする大学病院が今後取るべき戦略や経営管理の方法について理解している。
- 3 複雑な都市環境における医療・介護・福祉の担い手と連携しながら病院経営を実行・助言できる。

履修プログラムの特徴

安全管理学・ガバナンス

安全管理学は、患者取り違え事故という、日本の医療安全の原点を経験した横浜市大ならではの、安全管理の理論と実行について学びます。

ガバナンスは、ケースディスカッション方式で、病院教職員のやりがいをいかに高め、病院の理念や行動規範を浸透させていくかを学びます。



特別研究：ケーススタディ

特別研究は、履修生各人が持っている経営課題について、コーディネーターのマンツーマンの指導を受けて、解決法の提案を行います。これに加え、世界の一流ビジネススクールで用いられているケース教材等を使って、リアルな病院経営についてクラス討議を通じて学びます。

これらを通して、履修生が本プログラム修了後も様々な経営課題を解決する基礎力を培うことを目指します。



プログラムの内容

必須科目内容

医療政策学 15時間

医療における管理者の視点を養成することを目的として、医療政策学を学ぶ講義について開講する。本講座では、病院、保険者、横浜市、神奈川県、国の5つの視点から包括的に医療政策について学ぶ。

医療経営学 15時間

病院経営の理論と実際について学ぶ。具体的にはDPC及び原価情報の活用による経営改善や医療情報・医療データの二次利用方法に触れ、高度急性期医療を使命とする大学病院が今後取るべき戦略や経営管理の方法について理解する。

安全管理学・ガバナンス 15時間

安全管理学では、高信頼産業に学ぶ安全管理、医療事故から学ぶ安全管理、レジリエンス、コミュニケーションについて学ぶ。ガバナンスでは、リーダーシップ、動機付け、コンプライアンスなどについて実際の病院経営に即して学ぶ。

特別研究 52.5時間

特別研究(52.5h)・ケーススタディ研究・演習。大学病院の現場における、大学病院長主導による経営改善実習を行う。

選択科目内容 (1科目選択)

臨床統計学 22.5時間

臨床試験でプロトコールを作成する上で必要な統計的手法を学ぶ。臨床研究で実際に用いられている統計手法(検定方法や帰帰モデル)を習得する。解析ソフトを用いて講義で得た知識を実際のデータ解析に活用するための実習を行う。

医学教育学 22.5時間

人材育成のための能動的な教育手法の実践と専門職連携の観念と教育手法の習得を目的として、イントロダクションの講義後、履修者と共にディスカッションを行う。

看護管理学 22.5時間

看護管理の理論と方法を概観し、保健・医療・福祉システムの変化における看護管理上の課題を明確にし、看護管理者、CNSとして効果的に組織をマネジメントするために必要な知識を学習する。

看護政策学 22.5時間

看護の質向上に向けて求められる看護政策、制度の理念、機能、意義ならびにその展開に必要な知識と技法について今日の社会的背景も踏まえて学ぶ。

調査方法論 22.5時間

公的統計調査等について適切な調査の企画・設計ができるようになるため、調査票の作成方法や調査実施方法、標本抽出の方法や母集団推定の方法など、文理をまたいだ様々な技術について概要を網羅的に学ぶ。

公会計研究 22.5時間

公会計研究では、行政や病院、大学等における会計問題を対象とした研究を包括的にレビューし、海外トップジャーナルにおける公会計研究の課題と展望を理解する。

医療イノベーション経営 22.5時間

医療イノベーション経営では、医療組織の経営戦略や経営資源の開発、マーケティング、医療の質の確保などについて学ぶ。受講生が履修しやすいよう、夏季土日等の休日に集中講義として実施する。

ビジネスマネジメント 22.5時間

投資評価、原価計算、経営情報論、人的資源管理、組織変革論、マーケティング、経営戦略論など経営学の基礎を学ぶ。

ソーシャルイノベーション 22.5時間

組織を取り巻く社会的な課題について理解を深め、行動経済学やソーシャル・マーケティング等の知見を活用しながら、組織や社会全体にイノベーションをもたらす課題解決型人材の育成を目指す講義。

医療経営分析論 22.5時間

外部環境の補正による病床の将来推計と病院内外のデータ解析を通じてエビデンスに基づく医療経営管理の理解を深めることをめざす講義。

履修生の声 2020年度履修生

学会のように限られた時間内での専門に特化した議論ではなく、医療界全体を俯瞰して、徹底的に語り合うケーススタディは刺激的でした。まさかWEBであれほど盛り上がりとは！また、若い大学院生に混ざって受講した選択科目の公会計研究では、院生たちの優秀さに圧倒されました…そして、特別研究の報告会では、同期生たちの多様性に富んだ緻密な発表に凄みを感じました。報告書には1年間の充実感がびっしり詰まっています！

医療経営・医療政策学など経営学の基礎や、ケーススタディから問題点を分析し課題解決に向けた方策について学びました。講義は一方的なものではなく、常に講師や他の受講生と意見交換する形で進められ、様々な背景の多職種からなる受講生との意見交換は、自身の看護管理実践をリフレクションする機会にもなりました。これをゴールとせず、ここでの学びをさらに深め、実践に活かしていきたいと考えています。

今後も医療需要が増加していく中、高度急性期病院が多くある地域で、中堅急性期病院の当院の在り方を改めて整理したいと思い、このプログラムに参加しました。受講生には、行政の方も含む様々な規模の病院から職種や立場の違う方々がおられ、受講を通して大変刺激を受けました。特に特別研究では手厚い先生のご指導、ゼミ生からの刺激あるアドバイスを御得て、取りまとめることができました。ここで得た様々な出会いに感謝し、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

横浜市立大学附属市民総合医療センター
医療・診療情報部/医療の質・安全管理部
講師・部長 西井 鉄平



横浜市立大学附属病院看護部
総括副看護部長 総務・人事担当
鈴木 久美子



神奈川県済生会神奈川病院
事務部長 武田 朋久



本講受講者の
履修を
サポートする

e-learning、テキストブック、ライブラリー・ 図書館の利用、コーディネーターのサポート

本学の両附属病院等の現場を活かし、履修生が現場で感じている問題を分析・研究することで、病院経営を実践的に学ぶことができるような様々なサポートを行っています。履修生にとって受講しやすい環境を整えていきます。

e-learning

通学して講義を受ける時間の無い方、社会人の方へのサポートとして、講義の一部をe-learningシステムで運用しています。「医療経営学」「医療政策学」の講座動画・テキストを配信するとともに、テスト等による進捗管理を行います。履修者はすべてのコンテンツを視聴可能です。



e-learningシステム画面

医療政策学、医療経営学テキストブック

本学の履修プログラムを学ぶ共通テキスト（本文132ページ）として、「医療政策学」「医療経営学」の内容をまとめています。「YCU 病院経営プログラム」のテキストブックとして受講者に配布します。



医療政策学、医療経営学テキストブック

ライブラリー・図書館の利用

病院経営マネジメントに必要な書籍を履修生が自由に借りることができるライブラリーを附属病院とセンター病院それぞれの病院長室に作りました。また、大学の学術情報センターも履修生として利用が可能です。



横浜市立大学医学情報センター自習スペース

コーディネーターのサポート

履修生は、必修科目「特別研究」において、各自で決めたテーマで研究を進めます。最終的にはその内容をまとめ報告会で発表する必要があります。コーディネーターは、研究テーマの設定、調査方法や、研究内容のブラッシュアップ等、全面的に履修生の研究活動をサポートしてくれます。

令和3年度

履修生の募集概要

本年度「課題解決型高度医療人材養成プログラムによる履修証明プログラム」履修者を募集しました。

プログラム名	YCU病院経営プログラム	募集期間	令和2年11月12日～11月26日
募集人員	13名/年間	選考結果	合格25名(学外:10名、学内:15名)

医療経営・政策研究会

研究会の目的

- ① 医療福祉の財務情報・非財務情報に関連する実証的研究を行い、研究成果を効果的・効率的な経営や政策に生かすこと
- ② 行政（横浜市）・事業者・研究者による交流を促進し、知見を深めること

開催の目的

病院・医療従事者の労働環境と生産性について議論し、これからの病院経営のあり方について検討すること

第11回医療経営・政策研究会

zoom開催

大学院国際マネジメント研究科准教授 黒木 淳氏
大学院データサイエンス研究科 特任教授 伴 正海氏

日程…………… 2020年9月5日（土）

参加者……… 41名（大学関係者、横浜市関係者、学外研究者、実務家）

開催時間… 10:00～13:00

- 10:10～10:50 「働き方改革の課題と展開」
鈴木 幸雄氏（横浜市立大学 附属病院 産婦人科）
- 11:00～11:50 「レジリエンス経営～療養型病院における新型コロナウイルス感染症クラスターの経験から」
北島 明佳氏（元気会横浜病院 理事長）
- 12:00～12:30 総括&ディスカッション

第12回医療経営・政策研究会

zoom開催

大学院国際マネジメント研究科准教授 黒木 淳氏
大学院データサイエンス研究科 特任教授 伴 正海氏

日程…………… 2021年1月31日（日）

参加者……… 39名（大学関係者、横浜市関係者、学外研究者、実務家）

開催時間… 10:00～12:30

- 10:10～10:50 「医療×クリエイティブで起こす行動変容」
石井 洋介氏（株式会社omniheal代表取締役）
- 11:00～11:50 「デジタルヘルスアプローチ～医療者の健康管理と地域連携への応用～」
木野瀬 友人氏（デジタルハリウッド大学大学院 特任助教）
- 12:00～12:30 総括&ディスカッション

公開授業・シンポジウム

日程 2020年9月5日（土）

公開授業 10:00～11:30

第1部

「横浜市大附属市民総合
医療センターの経営改革」

1. 「医師の働き方改革実践のための大学病院産婦人科における医療体制のリアルワールドモデル」
横浜市立大学附属病院 産婦人科助教 鈴木 幸雄氏
2. 「公開DPCデータを利用した2次医療圏における急性期病院の機能分化分析と経営戦略策定」
小松市民病院 診療部長 泌尿器科担当部長 北川 育秀氏
3. 「地域包括ケア病棟の経営課題と分析」
さいわい鶴見病院 事務長 岡本 正太氏



公開シンポジウム 13:00～15:00

第2部

「働き方改革と医療政策」

<パネリスト>

第1部の登壇者全員

- 山村 智和氏（横浜市立大学大学院 医療経営・政策産官学連携講座特任助教）
田中 利樹氏（横浜市立大学 医療経営アドバイザー、本プログラム特別研究指導者）
稲森 正彦氏（横浜市立大学医学部 医学教育学教授）

<コメンテーター>

- 中澤 よう子氏（神奈川県健康医療局 医務監）
松村 眞吾氏（横浜市立大学国際マネジメント研究科特任教授・本プログラム特別研究指導者）

<司会>

黒木 淳氏（横浜市立大学大学院データサイエンス研究科准教授）

日程 2021年1月31日（日）

公開シンポジウム 13:00～15:00

「COVID-19パンデミックの中で
病院と地域医療をどう経営するか？」

1. 「COVID-19の病院経営への影響と課題」
横浜市立大学 医療経営アドバイザー 田中 利樹氏
2. 「重点病院に指定されて、医療従事者はどのように受け止め、どう対応したか？」
神奈川県立足柄上病院 病院長補佐 國司 洋佑氏
3. 「感染制御専門家から見た、病院と地域医療の経営」
横浜市立大学附属病院 感染制御部長 加藤 英明氏
4. 「医療経営学者から見た、病院と地域医療の経営」
横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 准教授 黒木 淳氏
5. パネルディスカッション
「COVID-19パンデミックの中で、病院と地域医療をどう経営するか？」

<特別ゲスト>

神奈川県医療危機対策統括官
阿南 英明氏

<パネリスト>

シンポジウム登壇者

<コーディネーター>

後藤 隆久氏



福浦キャンパス・附属病院

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9



附属市民総合医療センター

〒232-0024 横浜市金沢区浦舟町 4-57



金沢八景キャンパス

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2



みなとみらい サテライトキャンパス

〒220-8107 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
横浜ランドマークタワー7階



YCU
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

横浜市立大学

YCU病院経営プログラム事務局
医学教育推進課

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
TEL : 045-352-7968 FAX : 045-787-2767
E-mail : hp_mgt@yokohama-cu.ac.jp